

あなたの声をみんなの声に みんなの声をまちの形に

みんなの党 みんなの党通信

2011. 3.18 第3号

編集 みんなの党さいたま市議会第1支部
URL:<http://www.minnanokaori.net>

富田かおりの 現場 レポート



富田かおり は次の政策を発表しました。

私は政治をあきらめない!

- 災害に強いまちづくりの推進
- 通勤難の解消、コミバスの運行改善
- 保育所と公園の増設
- 在宅介護の支援、施設の充実
- 生活弱者を生まない地域共助の確立
- 天下り、税金のムダ遣いノー

◇ 現場の声で市政を動かす

「個人の努力では解決できない問題がある」「伝える側からつくる側へ」一。私が新聞記者を辞め、政治の道を決意した原点です。

国政が混迷を深める中、いまこそ地域から政治を組み立て直す好機です。「行政にお任せ」では、私たちのくらしはよくなりません。私は現場の声をていねいに聞き、リアリティを持って伝えることで市政を動かし、具体的な形にしていきたいと思っています。常に市民目線で行政を厳しくチェック。市民が真に主役の市政を皆さんとともにつくっていきたく思います。



「市政に新風。確信した」

「市政に新風を吹き込んでくれると確信した」「物事を追求し、正義を貫く目を持っている」。期待と激励の声が相次いだ事務所開き。同級生からは「いつもみんなの悩みや相談ごとの聞き役だったよね」とエピソードが紹介された＝5日、武蔵浦和駅前の事務所

富田かおりプロフィール

1978年(昭和53年)生まれ。大妻女子大学文学部卒業。卒論は「大岡昇平論」。南区別所在住。埼玉新聞社報道部記者として、地方行政、教育、福祉を主に担当。典型的なO型気質。小・中・高校と吹奏楽部に所属、トランペット、サクソフ、ファゴットを担当。趣味は美術館めぐり。抹茶味のお菓子に目がない。

Your Voice (あなたの声&みんなの声)

放置自転車は減ったけれど

NPO 法人むさしうらわ街ネット理事 白井 啓子さん(鹿手袋在住)

再開発工事が進んで超高層マンションが次々と建ち、姿を変えている武蔵浦和駅周辺。歩行者用デッキの建設に伴い、数カ月前から周辺の歩道が「カラーコーンと棹(さお)」で規制された。そして、放置自転車の数は確かに少なくなった。しかし、この規制をいつまで続けるのだろうか。抜本的な解決とはいえない。景観もひどく悪い。

住みよい街づくりを目指し、NPOの活動を始めた平成15年。乱雑に置かれた多くの自転車のために駅周辺の歩道や通路はまともに歩けず、階段の昇降に支障をきたし、点字ブロックも意味を成さない状態だった。武蔵浦和駅の駅長さん、周辺店舗、マンションの責任者の方々にお話することから始め、市の交通安全課、車両対策事務所(自転車撤去担当)、土木課等に相談して対策会議を開き、駐輪場使用を呼びかける活動を展開した。ところが交通安全課は19年に都市交通課に替わり、担当者の異動で説明もないまま連絡が途絶えた。

最近では市営駐輪場が2時間以内の利用に限り無料化され、駅の東側地下駐輪場の稼働率も7割になった。以前の約2倍である。歩行者の安全、街の景観、犯罪への抑止力などから放置自転車対策は必要不可欠なこと。我々市民のモラルの問題ではあるが、行政の力なくしては解決し得ないことでもある。市民が声を上げ行政を動かし、ともに住みよい街を創っていったらと思っている。

みかん物語 ②



記者として10年の節目。県庁記者クラブで記事を書く日々。そんなある日。



以前から父のよう慕っていた関根隆俊議員からさいたま市議選に出してみないかと要請を受ける



悩みの日々が続いた。選挙や政治の取材はしてきたもの。まさか自分が出るなんて。そういえば12年前、女子大生の頃、次の選挙で。



記者として疑問に思ったこと解決できなかったことが具体的な形として実現できる道かもしれない。よしやってみようか。

街角スゲキ

武蔵浦和駅周辺のカラーコーン



この通信のバックナンバーはホームページでご覧下さい。

かおりコラム

5日の後援会事務所開きには、地域の皆様をはじめ多くの方々にご参加いただきました。皆様から過分なお言葉を頂戴し、身が引き締まる思いです▼この事務所を活動拠点に現場を歩きますと、地域の課題が自ずと見えてくるような気がします▼全国に誇れるさいたま市、住んでよかったと思える南区の街づくりを実現していくことが私の夢です。そのためには、皆様方のご英知とお力がぜひとも必要です▼微力ではありますが私は、その先頭になって精一杯頑張らせて頂きたいと思っています。



新人富田かおりの政治活動を手伝ってくださるボランティアを募集しています。富田かおりの姿勢に賛同いただける方、一緒にまちづくりを考え、行動してくださる方。ご意見もお寄せください。

あなたの声をお聞かせください

Email: tomita@minnanokaori.net



市政に新鮮力!



富田かおり

検索